

令和7年度 PTA総会におけるご質問、ご意見への回答

一つの案件に関する同一の方からの質問は要点をまとめて記載します。

当日の回答へ追記、補足、修正した内容となります。

Q1-1 五十嵐さん	行事助成金の項目の付記に「PTA学校行事助成（元小まつり等）」とあるが、主に何の金額なのか。 元小まつりに当てる予算という考え方なのか。												
A 二瓶さん	元小まつりの備品以外に、小学校への入学式のお祝い金、南P協のソフトボール活動費などの支出が含まれている。 費目として行事助成金に集約している。 PTA学校行事助成（元小まつり等）についての内訳は以下の通り。 <table><tr><td>元小まつり</td><td>88,388円</td></tr><tr><td>入学・卒業・運動会お祝い金</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>転退職先生への記念品</td><td>11,000円</td></tr><tr><td>南P協ソフトボール前渡金</td><td>65,000円</td></tr><tr><td>年度末返戻金</td><td>34,352円</td></tr><tr><td>計</td><td>160,036円</td></tr></table>	元小まつり	88,388円	入学・卒業・運動会お祝い金	30,000円	転退職先生への記念品	11,000円	南P協ソフトボール前渡金	65,000円	年度末返戻金	34,352円	計	160,036円
元小まつり	88,388円												
入学・卒業・運動会お祝い金	30,000円												
転退職先生への記念品	11,000円												
南P協ソフトボール前渡金	65,000円												
年度末返戻金	34,352円												
計	160,036円												
Q2-1 五十嵐さん	3月27日に移動動物園が行われたが、あれはPTAが企画したものか。（PTAの予算を使っているのか）												
A 二瓶さん	PTAの予算とは全く別の予算で支出をしている。 移動動物園は、元小まつりの一環として、川口市の放課後子ども教室という制度の予算を利用しPTA予算とは全く別のところで支出をしている。 決算報告には入っていない予算で行い、別会計となっている。												
Q3-1 仁平さん	学習奨励費に関して予算に対して決算が1万多くなっている理由は。												
A 二瓶さん	元小まつりの収益により変動する項目で、今年度収益が多かったため増えている。												
Q4-1 仁平さん	付記に卒業記念品（証書ホルダー）となっているが金額はいくらなのか。												
A 二瓶さん	PTAからは学習奨励費として学校に一律の金額をお渡ししている。 その後の用途における内訳はPTAの会計から外れるので詳細な金額は把握していない。 ※総会での質問を受け、学校側が金額を提示くださった。R6年度の証書ホルダーと胸花 合算で 36,940円（71名分）												

Q5-1 五十嵐さん	会則に歴代会長は顧問に就任するとあるが、第29代会長の仁平義一の名前が記載がない理由は。
A 二瓶さん	お子さまが元郷小学校に在籍されている場合、慣例として、現役の保護者であることを踏まえ、PTAの会員としてご所属いただくことを優先している。過去にも、現役保護者として民生委員を務めておられた方には、同様にPTA会員としてご協力いただいている。お子さまがご卒業された後、翌年度より顧問として委嘱させていただく予定となっている。
Q6-1 仁平さん	規約の改正に伴い、任意制のPTA組織となった事により非加入の保護者がいる。 P.14 第15条（1）会員名簿を備える」とあるが、今年度より会員と非会員に分かれるので会員名簿を添付する必要があるのではないか。
Q6-2 高嶋さん	「備える」であって「名簿を一式添付して皆さんに開示する」と書いてあるわけではない。 お互いにどうあるべきかを考えられたらいいのではないかと思います。
A 二瓶さん	PTA執行部にてPTAへ加入された方の名簿は作成しているが、個人情報となるため名簿を開示する予定はない。 また、執行部内でも業務上必要な時に、その担当者のみが閲覧できるように管理している。 会則では「帳簿を備える。」となっており、会則に沿って運用している。
Q7-1 高嶋さん	令和6年度の決算で、予算より多くかかってしまった項目が多い。 物価高を踏まえて、6年度予算と7年度予算が同額であるのは問題ないのか。学校側と協議済みという理解で良いのか。
A 二瓶さん	この度のPTA改革の主題でもあるPTA活動のスリム化につとめ、切り詰められるところは切り詰めて、今期はこの予算を達成できるように予算縮小に努める。
Q7-2 五十嵐さん	6年度の予算では、繰越金や予備費を除いた歳出部分で、すでに17万7,500円の予算超過が発生している。 ただし、決算では収益があったため、結果的に予算内に収まり、黒字決算となった。 一方、7年度の予算では、予備費を除く歳出部分で33万5,000円の赤字予算となっている。 また、今年度からPTAの任意加入制を導入したことにより会員数が減少し、会費収入も約2割減っている。 次年度以降も会員数の変動が見込まれる中で、このまま現在の予算案で運営を継続すれば、5年程度で予備費が枯渇する可能性が高い。 同様の予算編成を続ければ、恒常的に赤字となる見込みであり、予算の見直しや修正はいつ頃から行う予定なのか。
A 二瓶さん	6年度に活動の見直しを行い、5部三委員会体制から4委員会体制へとスリム化した。 今年度の活動を進める中で、予算の使い方についても見直しを行っており、1年を通じて見通しが立つと考えている。 その段階で、8年度の予算計画を立て、活動を進めていく方針である。
Q8-1 五十嵐さん	4月15日の懇談会后、PTAの新体制について、今年度より加入を任意制とした旨の説明があった。 非入会者の児童に対して「元小まつり」の事前チケット販売しないという方針が示されたと聞いている。その方針についてどのように考えているのか。
A 糸井さん	元小まつりはPTAが主催するイベントで、経費や運営にあたる人員などPTAの予算、会員のサポートにより開催されている。 実際の活動や会費での支援をしてくれているPTA会員への付加価値提供が、前売り券販売の目的である。 今年度はこの方針で当該企画を遂行し、全保護者向けに意見を聞く機会を設け、来年度の方針を決めることとする。